

今後の整備・取り組みの方向性（案）



本資料は、公園整備にあつての基本理念や基本方針などを示した「国営明石海峡公園基本計画」の整備方針を踏まえ、今後の整備・管理運営のイメージを示すもの

「国営明石海峡公園基本計画」変更（案）整備方針

- ① 歴史・文化を含めたこの土地の里地里山の景観を、新たな技術の導入や、地域をはじめとした多様な主体との連携により、継承していくことを目指す。
- ② 国際都市神戸に位置することから、自然と人との共生という伝統的な日本人の自然観を海外の人々にも発信し、広域的な観光客の取り込みを目指す。
- ③ 誰もが利用できる都市公園というレクリエーションの場を活用して、里地里山文化を体感できるとともに、大規模な里地里山を「動態」として保全し、これを継承していく際のモデルとなる公園づくりを目指す。
- ④ 里地里山における自然共生型の暮らしを継承するとともに、次世代を担う子どもたちが、自然を体験・学習する場とすることを目指す。

※赤字が変更の際の修正点

1. これまでの取組

① 多様な主体との連携による里地里山の景観の継承

本公園では、里山プログラムの実施や公園の整備・維持管理、環境の調査保全など様々な場面において、市民活動団体が重要な役割を担っている。

- 現在、14の市民団体が活動しており、令和4年度の総会員数は229名。
- 令和4年4月1日～令和5年2月28日における市民活動団体の総活動日数は558日。
- 団体の代表者が集う協議会を月1回程度開催し、情報共有等を行っている。
- なお、イベント等の機会等を活用した団体メンバーや新規団体の広報を実施している。

市民活動団体の会員数と活動日数

活動団体名	会員数	活動日数 R4.4.1～ R5.2.28
①NPO法人 シニアしごと創造塾	7	61
②NPO法人 Present Garden to	15	7
③NPO法人 あいな里山茅葺同人	12	29
④あいな里山ビオパーク	5	32
⑤あいな炭焼きくらぶ	24	45
⑥あいな竹ぐるーぷ	12	18
⑦あいな野草くらぶ	23	89
⑧学半舎1995	15	80
⑨環境ボランティアわかば会	21	67
⑩甲南大学 里山レンジャー・アソシエーション	5	6
⑪神戸カワバタモロコ保全推進協議会	40	40
⑫神戸芸術工科大学 あいな里山プロジェクト	7	50
⑬日本野鳥の会ひょうご	20	7
⑭兵庫きのこと研究会	23	27



田植えや稲刈り体験



ため池のかいまり



竹を使った遊具づくり



茅を使ったティビづくり



野鳥の観察会



きのこづくり



炭焼き



野草のてんぷら体験

国営明石海峡公園 神戸地区
あいな里山公園

自然いっぱい里山公園で何ができるかな？
市民活動団体の新規募集がはじまります！

あいな里山公園では、開園前から市民団体の方々が、田畑での耕作、野草や生き物の保全・調査、炭焼き、竹の活用、茅場づくりなど、楽しみながら、公園の魅力や楽しさを来園者にお伝えする活動を行っています。（写真参照）
平成28年の部分開園から5年以上が経過しました。公園の魅力を高め、また、今後の未開園区域の整備を協働で進めていくため、新たに公園で活動していただける市民活動団体を募集します。

あいな里山公園はこんなところですよ！

あいな里山公園（国営明石海峡公園 神戸地区）は、自然との共生・伝統的な自然観を継承する「里地里山文化公園」を目指した国営公園です。
公園全体がかつては藍那集落の方々か田畑や薪炭林（しんたんりん）として利用していた里地里山で、雑木林や竹林、棚田跡、ため池、野草など、多くの来園者に里山体験や里地里山の風景などをお楽しみいただいています。

開園している棚田・田んぼでは、田植えやお米や野菜を収穫しています。
四季折々の自然があり、里山でしか見られない草花が楽しめます。
茅葺き古民家のある里山で、様々な里山体験やイベントが行われています。
茅材となるスキヤリンや、様々な野草を使って工作や遊びができます。
未開園区域にはかつての棚田跡や、石蔵、土蔵などがあります。
モリノチウワやマダガスカの竹林があり、竹細工などにも使えます。
雑木林で、いろいろな鳥や昆虫がすみかになっています。
茅場では見られないいろいろな虫や鳥が楽しめます。

あいな里山公園での活動にご興味のある方は、下記までご連絡ください！
新規の団体を随時募集しています！

国営明石海峡公園神戸地区 あいな里山公園 〒651-1104 神戸市北区山田町藍那字田代
電話：078-591-8000 FAX:078-591-8001 メールアドレス: aina@kobe-park.or.jp
ホームページ: https://kobe-kaikyo-park.jp/ahimin
事務局: 国土交通省近畿地方整備局国営明石海峡公園事務所・あいな里山公園管理センター

市民活動団体の募集チラシ

1. これまでの取組

① 多様な主体との連携による里地里山の景観の継承

○園内の生物多様性への配慮として、管理センターや公園事務所、市民活動団体（5団体）などにより調査保全活動を実施。

○古民家の葺替えへの利用のための茅の育成を開始。里山プログラム等において伐採木等を活用。

管理センターや公園事務所による調査保全活動等の取組み

区分	取組み
外来種の駆除、里地里山環境の再生	外来種対応
	地域の固有性に配慮した、自生種の播種・育苗
	かいぼり等
	湿地乾燥化防止（湿地の耕耘作業、ハンノキの除去等）
	ススキの移植
ススキの利用法の試行	茅マルチづくり
周辺の日照環境改善、園内の生物の食べ物確保	地域の象徴木であるヤマモモの管理(接ぎ木、更新剪定、周辺木の剪定管理)
植物発生材(伐採幹、枝葉、等)の活用、生物の棲み処の創出	伐採木の利用(エコスタック等)
来園者の安全確保、ナラ枯れの蔓延防止	ナラ枯れ樹木対策（枯損木(危険木)の調査・撤去）
土木工事等による環境影響の把握	工事前後の環境影響調査（希少植物調査、水質調査、移植後モニタリング調査等）
獣害対策	シカの食害調査・植生調査

市民活動団体による調査保全活動等の取組み

団体名	区分	取組み
あいな炭焼きくらぶ	動植物の調査、保全等	野生動物の撮影
		ニホンミツバチの飼育
あいな野草くらぶ		園内野草種子の採取、育苗
神戸カワバタモロコ保全推進協議会		希少魚類の生息調査
		希少両生類の生息状況調査とその保全
	希少動植物の調査・保全、環境整備	
日本野鳥の会ひょうご	野鳥生息調査、写真撮影	
兵庫きのこ研究会	キノコの観察・調査	



外来種対応



かいぼり



湿地乾燥化防止作業



ヤマモモの接ぎ木

1. これまでの取組

②情報発信による広域的な集客

○本公園は、国営公園として近畿地方の広域レクリエーション需要に対応するために設置。

○神戸市と連携した地域に密着した広報については、神戸電鉄との連携を始めとして積極的に行っているものの、より広域への広報は積極的に展開できておらず、インバウンド等については、ガイドブック（4カ国語）、サイン表示（2カ国語）による案内のみ。

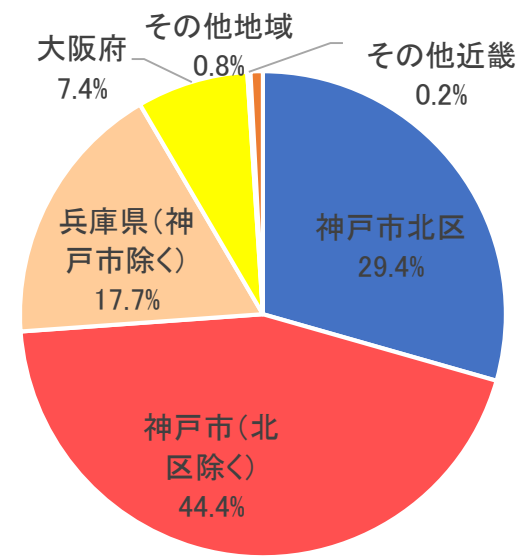
○神戸市内からの利用が多く、あまり兵庫県外からの来訪者が多くない状況。



4カ国語のガイドブック



サイン表示例

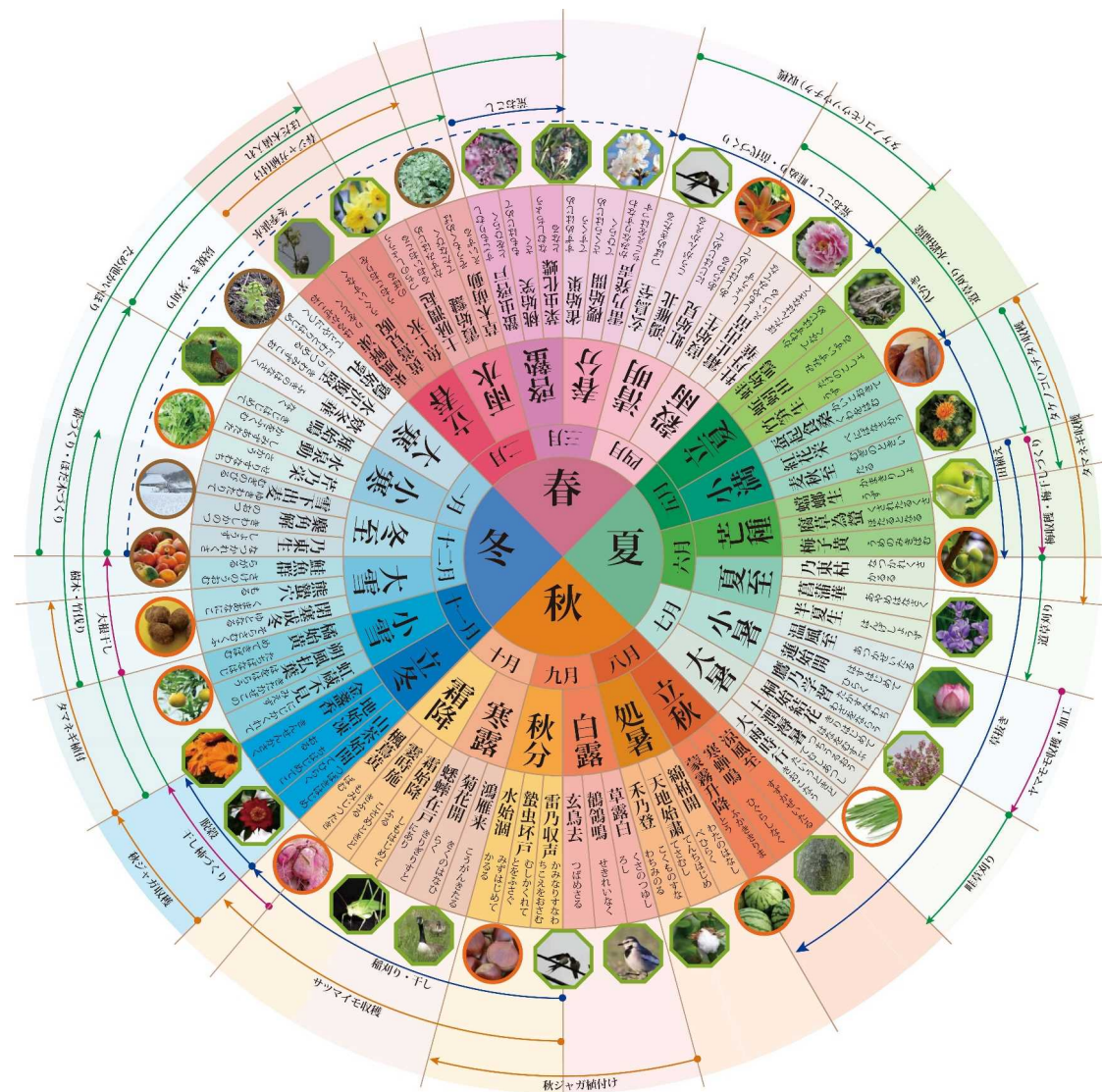


利用者の居住地（R4利用実態調査より）

1. これまでの取組

- ③レクリエーションの場を活用した里地里山文化の体感
- ④自然共生型の暮らしの継承・自然を体験・学習する場

○伝統的な自然観の継承のため、二十四節気、七十二候で表される季節の節目や花の開花などを感じられるよう、農作業や、自然観察などの体験プログラムを展開。



体験プログラム(例)

季節	春				夏			秋			冬													
	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月												
二十四節気	立春	雨水	啓蟄	春分	清明	穀雨	立夏	小満	芒種	夏至	小暑	大暑	立秋	処暑	白露	秋分	寒露	霜降	立冬	小雪	大雪	冬至	小寒	大寒
農と収穫	 水田の水路掘り・畦塗り		 田植え			 ジャガイモ掘り		 柿刈り・脱粒			 大根・カブの収穫													
自然観察	 春の野草観察		 たんぼの生きもの観察			 夏休み昆虫観察		 きご観察			 冬の野鳥観察													
里山の暮らし	 春の山菜採り		 やまもも採み・ツラムづくり あいなやまももまつり(七月)			 竹皮ぞうりづくり		 干し柿づくり			 冬の伝統行事 あいなとんど(過ぎ一月)													
里山管理	 草刈り		 タケノコ掘りと竹林管理			 樹林の下草刈り		 樹林管理			 灰燬き													



1. これまでの取組

③レクリエーションの場を活用した里地里山文化の体感

④自然共生型の暮らしの継承・自然を体験・学習する場

【1. 団体利用】

○学校団体：年間94校、約6700名の対応を実施（R4年度）。 ※市内87校6450人、市外5校250人

○一般団体：年間70団体、約2100名の対応を実施（R4年度）。

○実施時の工夫

- ・学校関係者が学習の対象としたいテーマを選べるよう、生きもの観察、米作り体験、昔の暮らし等のテーマからなる15のプログラムを準備して対応。
- ・当日のミスマッチがないよう、下見を実施。プログラムで児童が使用する資料や、先生向けの資料を整え、事前に行程案を用意したうえで、管理センターが対応。

里山プログラムの団体利用数

テーマ	学校		一般	
	団体数	参加者数（人）	団体数	参加者数（人）
①里山クイズラリー	46	4,095	1	35
②自然観察・春みつけ秋みつけ	11	884	4	254
③水辺の生きもの観察（採取）	33	2,239	1	30
④水辺の生きもの観察（ふれあい）	25	2,387	2	132
⑤野菜の収穫体験	48	2,909	20	629
⑥田んぼでお米作り体験	12	902	2	89
⑦かまど体験	4	77	7	181
⑧昔の暮らし（古民家見学）	7	528	0	0
⑨原っぱあそび	15	1,263	0	0
⑩虫取り	24	1,899	1	25
⑪情報館見学	2	42	1	58
⑫お茶づくり	3	292	3	137
⑬クラフト	6	531	0	0
⑭カメを通しての外来種の学習	2	44	0	0
⑮野生動物の学習	3	206	0	0
⑯自由散策・遠足	4	224	26	833
⑰その他	4	200	18	490

1. これまでの取組

③レクリエーションの場を活用した里地里山文化の体感

④自然共生型の暮らしの継承・自然を体験・学習する場

【2. 個別プログラム対応 他】

○年間、100件以上の個別プログラムを実施（R4年度140件、令和3年度108件）。市民活動団体や里山フレンズ、外部講師の協力を得て、自然観察、農業体験、クラフト、樹林管理等のテーマからなるプログラムを準備して対応。

○プログラムの他に、セルフガイド方式の「里山クイズラリー」を通年実施。年4回、季節に合わせた内容に変更して実施。

○「みごろの花&生きものマップ」も毎月1回作成し、長屋門にて配布。

里山プログラムの個別プログラム数

テーマ	企画（回）	実施（回）	参加者数（人）
①自然観察	37	36	1,694
②里山・農業体験	27	23	1,874
③クラフト	42	34	1,203
④樹林管理	0	0	0
⑤園内案内	14	9	104
⑥里山散策（歴史・地質など）	7	7	118
⑦セルフ型（クイズ）	12	12	1,458
⑧セルフ型	11	10	2,859
⑨その他	14	12	1,352



みごろの花&生きものマップ
(8月中旬～9月中旬)



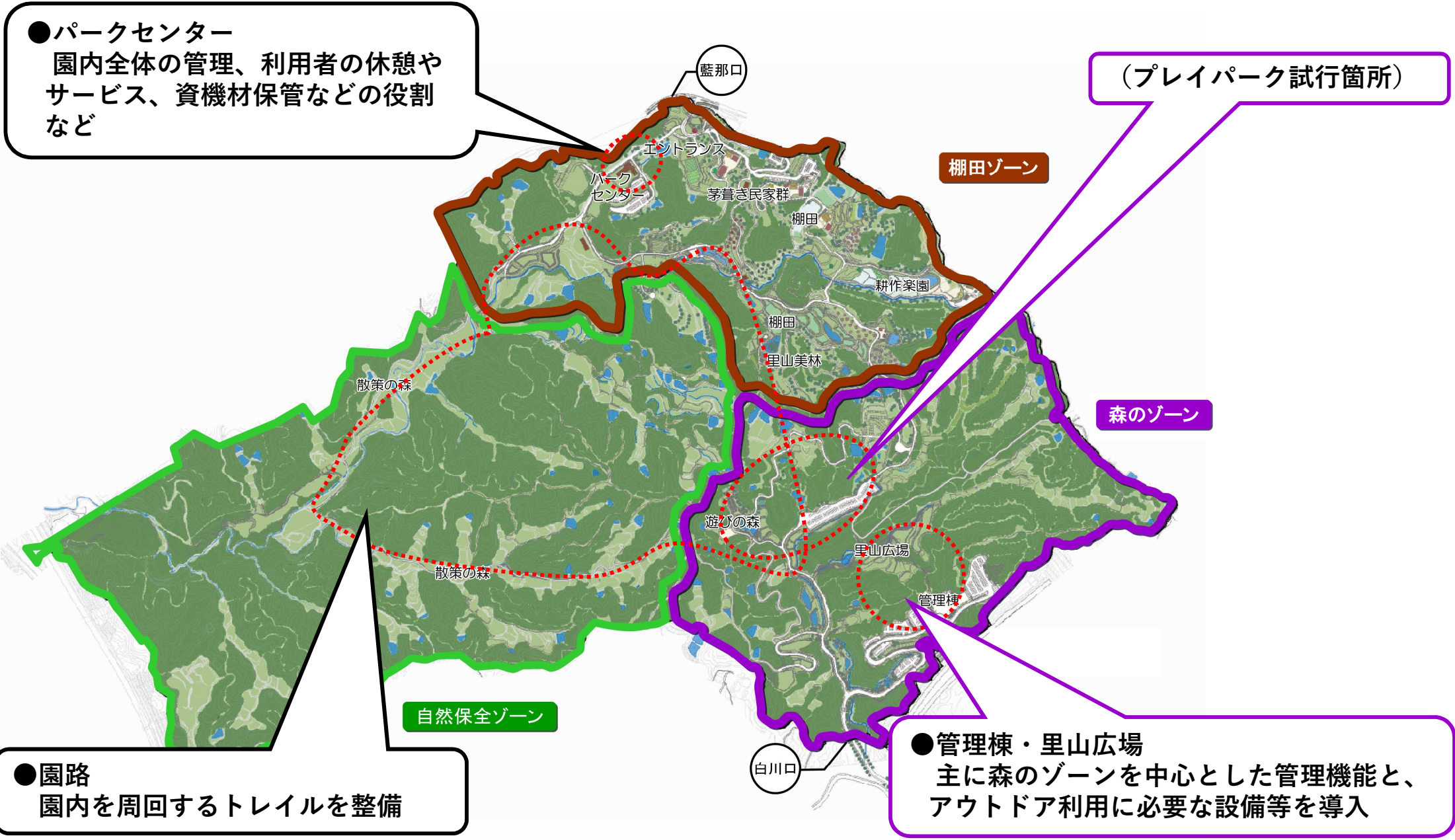
この他、プログラムと別に、田畑や古民家を活用した里地里山における軽易な作業や収穫といった体験メニューや、子どもたちを中心とした虫取りやザリガニ釣りなどの場を提供



2. 今後の方向性 整備について

●パークセンター

園内全体の管理、利用者の休憩やサービス、資機材保管などの役割など



(プレイパーク試行箇所)

棚田ゾーン

森のゾーン

自然保全ゾーン

●園路

園内を周回するトレイルを整備

●管理棟・里山広場

主に森のゾーンを中心とした管理機能と、アウトドア利用に必要な設備等を導入

2. 今後の方向性 整備について パークセンターとトレイルのイメージ

○パークセンターにおいて、園内全体の管理機能に加え、学校団体等まで対応可能な休憩機能や、利用者サービス機能の他、茅の保管など、資機材保管等の機能を盛り込むことを想定。



みちのく潮風トレイルを歩く上で必要な情報や、「ロングトレイル」と「歩く文化」を発信する名取トレイルセンター

出典 名取トレイルセンター
<https://www.mct-natori-tc.jp/about/>



教育機関に森の体験を提供し続け、森を活用できる森の指導者を育成するモリノス

出典 モリノス
<https://morinos.net/what-we-have/morinos/>

○自然環境ゾーンを主な対象として整備を行う園路には、ガイドによる案内など、学習・体験の機能を盛り込むことを想定。



出典 国立公園満喫プロジェクト 取組事例集
<https://www.env.go.jp/nature/np/国立公園満喫プロジェクト.pdf/>



休憩機能イメージ

(百舌古墳ビジターセンター)



環境学習イメージ

出典 石巻川のビジターセンターFaceBook
<https://www.facebook.com/riversidevisitorcenter/>



刈取後の茅の保管



嵐で倒れた様々な樹種の木を使ったトレイル
(イギリス・ロンドン Kew Garden)

出典Kew
<https://www.kew.org/kew-gardens/whats-in-the-gardens/natural-area>

2. 今後の方向性

① 多様な主体との連携による里地里山の景観の継承

- 管理センターによる里山プログラムの実施や市民活動団体による活動、大学との連携による環境教育の実践事業の実施等の取り組み等、多様な主体とした取り組みを実施。
- 環境学習の他に、博物館等で実施しているシードバンク等の取組や、企業のSDGs活動との連携を模索。



作業安全講習



湿原訪問

博物館との連携

出典 北摂里山大学 <https://satodai.hitosato.com/>



大学との連携

(神戸芸術工科大学による稲作の実践授業/
甲南大学による環境教育の実践授業/東京都市大学による研究)



民間事業者との連携例

(アサヒ飲料明石工場によるキーナの森での森づくり活動)

出典 公益社団法人兵庫県緑化推進協会 https://hyogo-green.net/forest28_01.html

2. 今後の方向性

①多様な主体との連携による里地里山の景観の継承

○里地里山環境の保全活用に向け、棚田跡を茅場として整備管理することで、茅葺屋根の持続的な維持管理を目指すとともに、棚田跡に景観資源を創出。

○仮設工作物の制作などを通じて、市民団体や技術者との交流などを図る。

基本計画改定案「景観計画」

ゾーン区分	景観の目標
自然保全ゾーン	「樹林や谷地田からなるきめ細かな自然風景」 ため池、谷地田、木見川、樹林地等を活用し、風景の変化を楽しむことができるようにする。また、自然環境保全重点区域においては、ため池や谷地田、尾根線、せせらぎ、樹林地等、地形や環境の変化のきめ細やかさと深さに富んだありのままの原風景を活かし、近畿の生物多様性のサンクチュアリとして周辺地域の方々への誇りとなる自然環境を保全する。
棚田ゾーン	「棚田の広がる里地里山風景」 周辺集落から連続する棚田、畑などにより構成される、広がりのある農を核とした里地里山の風景を継承または復元する。
森のゾーン	「あかるい林間風景」 樹林地、草地、湿地の自然要素を気軽に体験・利用が可能な林間のアクティビティに富んだ景観を形成する。また、周遊園路では様々な視点から森を眺めることができるよう、多様な景観演出を図る。



茅を使った仮設工作物



園内に5棟の茅葺き建物があり、葺替えには材料が必要



茅場整備の現状の試験地の今後の候補地



茅葺きに向けた関係者連携の様子（会議）

2. 今後の方向性

① 多様な主体との連携による里地里山の景観の継承

○人と生物多様性の関わりについて指針を作成し、貴重な生きものの保全や活用と連携した計画的な植物管理の展開。

例)
・調査団体（蝶の会）と連携した展示内容の検討や、蝶の育成、観察会などのプログラム実施などの体験機会の提供

貴重な生きもの	関連深い植物
オオムラサキ	エノキ
ミドリシジミ	ハンノキ
ミヤマカラスアゲハ	カラスザンショウ
アサギマダラ	フジバカマ

既存木の保全や、利用者の観察等に配慮した計画的な植栽
 ・ハンノキ林の定期的な剪定（1回/3年）
 ・フジバカマの植栽
 ・ヒガンバナなど蝶の観察や捕獲機会を提供する植物の計画的栽培

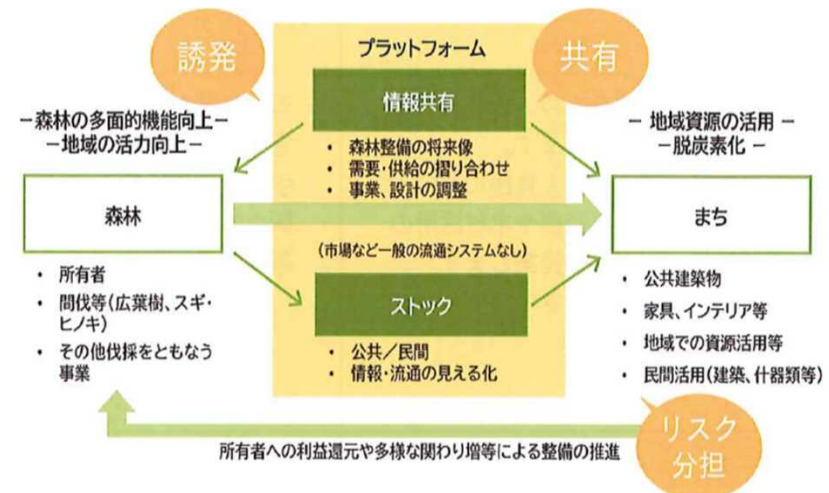
○伐採木等の適切な再利用。



1st テーマ 森林とまちをつなぐ。森林を地域で活かす。

まずは、3つの取組からスタート。

- ①神戸市の森林整備・伐採木等に関する情報を共有
- ②木材活用に関するリスクをステークホルダーで分散する仕組みを検討
- ③森林や木材活用に関わる新たな公民の活動を誘発



こうべ森と木のプラットフォーム

2. 今後の方向性

②情報発信による広域的な集客

- 公園を知ってもらう・興味関心をもってもらうため、魅力的なコンテンツの継続・発信を拡充するとともに、来園者自身が本公園の情報を発信したくなるような仕掛けを実施（花や新緑、夕日、天体観測、映像コンテンツ、アート作品など）。
- 古民家や棚田など類似の資源を有する施設との連携を強化。
- このほか、大阪関西万博の開催を機会としたひょうごフィールドパビリオンへの認定プログラム登録により、国内外の人々に向けた広域的な情報発信を強化。



夕暮れの棚田



神戸芸術工科大学による収穫後の藁材を使用した干支モニュメント製作



公園の伐採木を用いたアート例

出典 松戸アートピクニック2021

https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisei/matsudo_kouhou/pressrelease/R3/20211028.files/20211028_shiryouteikyoku1.pdf




ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

ひょうごフィールドパビリオンは
県内各地で行われているさまざまな持続可能な取り組みの魅力を
地域の人たちが発信するプログラム。
活動現場（フィールド）を訪れ、見て、学べる、新しい体験をお届けします。



ひょうごフィールドパビリオン

2. 今後の取組

③レクリエーションの場を活用した里地里山文化の体感

○大都市近郊の里地里山環境を活かし、しあわせの村の機能とは棲み分けた形で、例えば健康増進などの付加価値をつけたアウトドア体験の提供を図る。



官民連携事業の導入検討マーケットサウンディング調査
(R4.3公表)

参加事業者：11社

事業提案例：キャンプ、バーベキュー場、アスレチック、林間スポーツ、カフェ、アウトドアショップ等



しあわせの村キャンプ施設
オートキャンプ場32サイト・テントキャンプ場25サイト



出典：きたもと森林セラピー（埼玉県北本市）
<http://kitamoto-forest-therapy.com/news/3835/>

2. 今後の取組

③レクリエーションの場を活用した里地里山文化の体感

○園内の地形や自然を活かし、トレイルラン、マウンテンバイクなどの林間スポーツコース等の多様なスポーツの体験の場としての活用。

○子どもたちの自然体験や学習の機会の創出を図るため、プレイパークの積極的開催、トレイルコースとの連携。



出典：国営アルプスあづみの公園
https://www.azumino-koen.jp/oomachi_matsukawa/new/to pics.php?id=2326

出典：フォレストアドベンチャー・よこはま（国土交通省HPより）
<https://www.mlit.go.jp/toshi/park/content/001475864.pdf>



報道関係者各位
2023年2月22日
株式会社阪急阪神百貨店
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

スポーツ庁/SPORTS TECH TOKYO 共催
「イノベーションリーグ コンテスト」でパイオニア賞を受賞
～阪急阪神百貨店&真庭市のブランド「GREENable」がサポートした
岡山県真庭市蒜山・新庄村のトレイルラン大会～

株式会社阪急阪神百貨店が岡山県真庭市とともに取り組む「GREENable(グリーンابل)」ブランドでサポートした、2022年10月に岡山市蒜山・新庄村で開催されたトレイルラン大会「FORESTRAIL HIRUZEN-SHINJO 2022 supported by GREENable」が、2023年2月16日、「イノベーションリーグ コンテスト」でパイオニア賞を受賞しました。ランナーの環境保全活動への参加と企業協賛の新たな枠組みが評価されました。

【大会概要】
名称: FORESTRAIL HIRUZEN-SHINJO 2022 supported by GREENable
開催日: 2022年10月15日(土)
主催: FORESTRAIL HIRUZEN-SHINJO 2022 実行委員会
大会理念: <走る人が増えるほど、トレイルランに関わる人が増えるほど、蒜山・新庄の自然が豊かになっていく>
自然環境の<利用と保全>を両立させ、スポーツによる地方創生の実現を目指します。参加ランナーや協賛企業に自然環境保全に参加してもらうなど、サステナブルな大会運営を実現。
参加総数: 314人



【イノベーションリーグコンテスト】
スポーツ庁/SPORTS TECH TOKYO が共催するスポーツイノベーション推進プログラム。スポーツをイノベーション創出のドライバーとし、産業界と連携し、社会実用を創出してもらう取り組みをたたえるコンテストです。2022年度は「ビジネス・クロス業」「リージョナルイノベーション」「パイオニア賞」の3つの表彰区分ごとに募集し、各賞受賞者の中からイノベーションリーグ大賞が選出されました。パイオニア賞はスポーツやスポーツを取り巻く環境が大きく変化の中で、常識にとらわれず既存の枠組み・仕組みのアップデートに挑む取り組みを表彰するものです。



出典：国営越後丘陵公園 https://echigo-park.jp/guide/purpose/sports/trail_running/

出典：株式会社阪急阪神百貨店
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
https://www.h2o-retailing.co.jp/ja/news/auto_20230222516470/main/0/link/20230222greenable-pioneer.pdf



当公園におけるプレイパークの様子
(ターザンロープ、ハンモック、木の伐採体験)



2. 今後の取組

④ 自然共生型の暮らしの継承

- 実施中の各種プログラムについて、関連するものを組み合わせ、一年を通じてプログラムに参加できるような「年間プログラム」の展開。
- 藍那地域の古老たちなどから、この地域における里地里山の暮らしや自然との関わりなどについて録画等を行いながらヒアリングし、アーカイブとして保存活用。
- 収穫プログラムと組み合わせた古民家での宿泊体験プログラムの試行。

通年プログラム（例）

テーマ：稲作と里山暮らし

4月 播種

5月 田植え

10月 稲刈り

12月 しめ縄づくり

1月 餅つき



古老によるトークイベント
（地域とヤマモモの関わり）



古民家宿泊体験